

市総合防災訓練

8/19
(日)

午前8時

防災行政無線からサイレンと
緊急地震速報が流れます。

市民の皆さんがとる行動

8:00
地震発生

防災行政無線によるサイレンおよび緊急地震速報が流れ、ほととHOTメールが配信されます。
「しゃがむ・かくれる・じっとする」という一連の動きをした後、火の始末をします。

一時的避難場所へ避難・避難誘導
町内会で定められている、公園などのオープンスペースへ避難します。

重点項目

避難者の把握および安否確認訓練
一時的避難場所に避難した人数を把握し、避難していない世帯で、所在不明の世帯を対象に安否を確認します。

拠点避難所へ集団避難

町内会ごとに定められている拠点避難所（小中学校、野々市明倫高校、石川県立大学、金沢工業大学）へ集団避難します。

今年の重点項目

今年は市総合防災訓練5か年計画の最終年です。「安否確認」、「避難行動要支援者の支援」および「拠点避難所の運営」が重点項目となります。東日本大震災や熊本地震の教訓から、大規模災害では市役所そのものや市職員が被災することが想定されます。

今年の訓練も、市職員が避難所を運営できない事態を想定し、全10カ所の拠点避難所を地域住民の手で運営する訓練を行います。

また、市でも災害対策本部運営訓練などを実施します。

訓練想定

8月19日(日)午前8時ごろ、富樫断層を震源とするマグニチュード(M)7.2の地震(震度6弱、一部6強)が発生。市内では、家屋の倒壊、火災の発生、水道施設の破損、道路・橋りょうの損壊、交通道路網の混乱があり、多数の負傷者が発生している。

重点項目

拠点避難所の運営
防災士や町内会の代表者が中心となり避難所を運営します。避難所開設から運営までの行動手順を記載した「アクションカード」に基づき、地域住民が役割を分担し、協力し合います。

体験訓練

拠点避難所ごとの体験訓練(救急救命訓練など)、全拠点避難所共通で特設公衆電話を使用した171番通信訓練および炊き出し訓練を行います。



1. 心肺蘇生法を学ぶ救急救命訓練
2. 各拠点避難所での炊き出し訓練



終了・解散(正午ごろを予定)

普段からの備えが重要です！

食料・飲料・生活必需品

3日～1週間分は備蓄しておきましょう。

- ・非常食(レトルト米、缶詰、板チョコなど普段から食べているもの)
- ・飲料水(1人1日3リットルが目安)
- ・必需品(トイレットペーパー、ろうそく、コンロなど)



地震対策

地震に備え、下記に注意しましょう。

- ・家具の転倒・落下防止
- ・家具の配置
- ・住宅の耐震改修・耐震診断

避難所の把握

自宅が被災した場合、地域の避難所で生活しなければならないこともあります。災害時に備え、避難所の位置や避難経路、情報の伝達方法などをあらかじめ調べておきましょう。

防災訓練への参加

災害は突然襲ってきます。突然の災害に対応するためには、災害を想定した訓練などに普段から真剣に取り組んでおくことが重要です。市総合防災訓練への積極的な参加をお願いします。



災害時の情報入手手段を確保しましょう！

Yahoo! 防災速報

緊急地震速報や避難情報、豪雨予測などをお知らせするサービスです。

スマホで利用できるアプリ版と、携帯電話やパソコンのメール版があります。

※利用にはアプリのダウンロードや登録が必要です



防災行政無線



市内28カ所にあるスピーカーから緊急地震速報や避難情報を放送します。市内で火災が発生した場合は、住民への周知と消防団員の参集を目的にサイレンを3回鳴らします。

ほととHOTメールののいち

地震や火災の情報など、登録者の携帯電話やPCにメールを配信します。

登録はこちらから →



緊急速報メール

NTTドコモ、KDDI、ソフトバンク各社の携帯電話向け災害情報伝達方法で、市内の携帯電話基地局エリアの範囲内に滞在する携帯電話に情報を配信するシステムです。



えふえむ・エヌ・ワンの緊急割り込み放送

災害時には通常のラジオ放送を停止し、市から直接FM電波を利用して、割り込み放送を発信します。

